

花粉の本格飛散シーズン到来に向けて「アレルギー疾患を抱える小中学生」の母親 500 人にアンケート調査を実施

小中学生のアレルギー疾患率は、食物アレルギーなどを抑え「花粉症」が第 1 位 アレルギー疾患を持つ子どもの約半数が小学校入学前に、約 95%が中学校入学前に発症。 花粉症の対策を詳しく知っている親は、約 2 割という結果に。

株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都千代田区 代表取締役社長：田中仁、以下 JINS）は、花粉の本格飛散シーズンの到来に向け、アレルギー疾患を抱える小中学生を持つ 20～50 代の母親 500 名を対象に、「子どものアレルギーと花粉に関する実態調査」を実施しました。



昨年末、厚生労働省がぜんそくや花粉症などのアレルギー疾患について、国や自治体に取り組むべき方向性を示す初の基本指針案を発表しました。その中では、自治体・教育機関などの子どもに向けた生活の場での支援も一つの柱になっていますが、アレルギーに関する理解啓発や授業などは、実際の教育現場ではほとんど行われていないのが現状です。

こうした中、JINS では、子どものアレルギー疾患の原因のひとつである「花粉」の重大性とその対策にいち早く着目し、2013 年 1 月に小学校低学年～中学年向けの子ども用モデル「JINS 花粉 CUT for KIDS」を発売。当時では目新しい子ども用の花粉対策アイテムとして高い注目を集めました。そして今年は、年々深刻化する花粉からさらに多くのお子様の眼を守るため、従来の KIDS モデルはそのままに、より成長した高学年以上の子ども向けにサイズ・機能・デザインを一新した「JINS 花粉 CUT JUNIOR」を 2017 年 1 月 26 日（木）から発売します。

あわせて、さらなる花粉やアレルギーへの理解促進のために、アレルギーの研究が盛んな千葉大学を活動の拠点とする「NPO 法人企業教育研究会」と共同で、「小中学生向けのアレルギー啓発授業」を千葉県内の小・中学校で 2 月中旬にかけて実施予定です。今回、こうした取り組みをスタートするにあたり、子どもを取り巻いている現在のアレルギー環境や保護者の意識について、実態調査を実施しました。

食物アレルギーや喘息を上回り、「花粉症」が子どものアレルギー疾患のトップ

アレルギー疾患に悩む小・中学生の子どもを持つ親に、喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、食物アレルギー、ペット・動物アレルギーといった症状カテゴリから、自身の子どもが持っているアレルギー症状を聞いたところ、小学生低学年（1～2 年生）男子を除く全学年で、「花粉症」がアレルギー症状のトップという結果に。全学年をあわせると花粉症を持っている子どもは 52.6%と、約半数以上の子どもが花粉に悩まされていることが明らかになりました。

また、小学校入学前で全体の 48.2%の子どもが発症し、中学校入学前には全体の 95.4%の子どもが発症していることが明らかになりました。

実は「隠れ花粉症」かも？ 4 人に 1 人の親は、初めは花粉症だと気づかず

「自身の子どもが花粉症ということに気づいたきっかけ」を調査したところ、「自分（＝親自身）が花粉症だったので、症状が花粉症だと気づいた」という回答が 50.6%と全学年を通じて最も多い結果に。また、「別の症状だと思って病院に行った際に、診断結果が花粉症だった」と答えた親が全体の 25.7%にものぼりました。自分の子どもが花粉症という認識はなかったが、実は花粉症だったという、いわば「隠れ花粉症」とも言える子どもが一定数いるという実情が浮き彫りになりました。自身の経験など、花粉症が身近でない人にとっては、なかなか子どもの症状に気づきづらいことが示唆されます。

花粉症の対策・対処方法を詳しく知っている親は全体の約 2 割

一方、花粉症への対策・対処方法の知識を調査したところ、対策・対処方法を「詳しく知っている」と答えた親は全体の 26.9%という結果に。それ以外の回答では「基本的な対策を知っている程度（66.0%）」、「名前のみ聞いたことがあるがほとんど知らない、もしくは、知っているが自信は無い（6.3%）」、「全く知らない（0.7%）」と続く結果に。子どもに対するアレルギー対策・対処方法の基本的な知識は広まりつつあるものの、まだまだ十分とは言いきれないという現状が浮き彫りとなりました。

調査概要

- 対象者： アレルギー疾患に悩む小中学生を抱える 20～50 代の母親 500 名
- 実施時期： 2016 年 12 月
- 調査方法： インターネットによるアンケート調査
- 調査実施： 株式会社ジェイアイエヌ

【調査結果.1】

アレルギー性鼻炎や食物アレルギーを抑え、小学生～中学生のアレルギー症状の第1位は「花粉症」

アレルギー疾患を抱える小中学生の子どもを持つ親に、「喘息」、「アトピー性皮膚炎」、「アレルギー性鼻炎」、「花粉症」、「食物アレルギー」、「ペット・動物アレルギー」といったアレルギー症状のカテゴリから、自身の子どもが持っているアレルギー症状を聞いたところ、小学生低学年（1～2年生）男子を除く全学年で「花粉症」がトップという結果になりました。

また、小学生から中学生の全学年をあわせた「花粉症」の発症率は**52.6%**と、約半数以上の子どもが花粉症に悩まされているという結果に。中でも、中学生（1～3年生）男子においては、**59.3%**と高い割合で花粉症に悩まされていることが分かりました（図1）。

図1.あなたのお子さまがお持ちになっているアレルギー症状について、あてはまるものをお知らせください。（複数回答可）

	n	喘息	アトピー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	アレルギー性結膜炎	食物アレルギー	アナフィラキシー	ペット・動物のアレルギー	ハウスダスト	この中にはない	
全学年	3934	18.1%	25.9%	45.8%	52.6%	11.0%	15.9%	1.6%	17.1%	29.5%	1.3%	
性 × 学 齢 別	男児 小学	470	24.5	32.3	43.2	41.9	10.2	21.3	1.9	15.3	31.7	2.1
	男児 小学	492	22.6	23.6	49.2	50.6	11.4	20.1	1.6	18.9	38.0	0.8
	男児 小学	506	16.8	20.0	49.6	56.3	10.9	18.6	2.4	17.8	31.8	1.6
	男児 中学	700	17.1	22.9	50.6	59.3	12.9	13.9	1.6	16.1	31.6	2.1
	女児 小学	376	17.8	28.7	37.0	39.4	8.5	25.0	2.1	17.6	28.7	1.1
	女児 小学	388	19.3	24.5	40.7	54.9	10.6	15.7	0.5	17.5	35.1	2.1
	女児 小学	405	14.1	28.4	44.4	56.0	10.9	17.0	0.5	14.8	33.8	2.0
	女児 中学	597	13.7	28.5	45.7	56.1	10.9	17.1	1.5	18.4	33.3	1.0

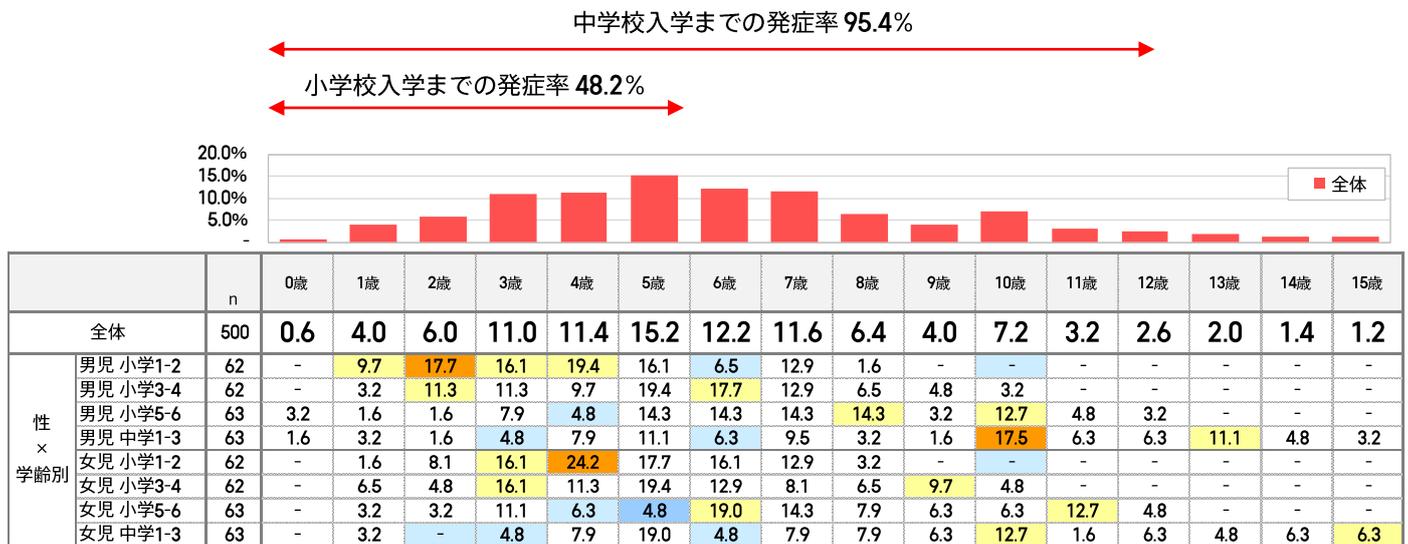
※1位のアレルギーを■、2位を■、3位を■、4位を■で網掛け表示
単位：%

【調査結果.2】

花粉症を患っている子どもの約半数が小学校入学前に発症し、残りの半数も中学校入学前に発症

子どもが花粉症を発症した年齢を調査したところ、小学校入学前には全体の**48.2%**の子どもが発症し、中学校入学前には全体の**95.4%**の子どもが発症していることが明らかになりました。つまり、花粉症を患っている子どもは、ほぼ中学校入学前に発症していることが見て取れ、小学生入学前からの早めの花粉対策が必要であると言えます（図2）。

図2.あなたのお子様が発症した年齢を教えてください。



※全体スコアよりも、+10ptを■、+5ptを■、-5ptを■、-10ptを■で網掛け表示
単位：%

【調査結果.3】

子どもが花粉症だと判明したきっかけ、4人に1人の親が「別の症状だと思って病院に行った際に診断結果が花粉症だった」と回答。「隠れ花粉症」とも言える子どもも多数いるという実情が浮き彫りに。

「自身の子どもが花粉症ということに気づいたきっかけ」を調査したところ、「自分（＝親自身）が花粉症だったので、症状が花粉症だと気づいた」という回答が、50.6%と全学年を通じて最も多い結果に。また、「別の症状だと思って病院に行った際に、診断結果が花粉症だった」と答えた親が全体の25.7%にもなりました。「自分の子どもが花粉症という認識はなかったが、実は花粉症だった」という、いわば「隠れ花粉症」とも言える子どもが一定数いるという実情が浮き彫りになりました。自身の経験など、花粉症が身近でない人にとっては、なかなか子どもの症状に気づきづらいことが示唆されます（図3）。

図3. お子様花粉症ということにどのように気づきましたか。（複数回答可）

	n	た断院別の結果が行った花粉症に、診断結果が花粉症だった	れ粉症の気づいた症状	テレビで見つけた紹介さ	花だ自分（親）が花粉症だと気づいた	が自分以外の親族で花粉症を持っている人	の友人知人の子ども	きたはなかが自ら花粉症	て花粉の出る季節が花	花トで検査をインターネット	その他
全学年	1481	25.7%	4.7%	50.6%	14.6%	4.4%	2.7%	38.6%	2.2%	2.6%	
性 × 年齢別	男児 小学1-2	146	32.2	7.5	42.5	13.7	6.2	2.7	42.5	3.4	2.1
	男児 小学3-4	179	22.3	5.0	53.6	16.8	3.9	1.7	37.4	4.5	2.2
	男児 小学5-6	200	20.5	5.5	50.0	15.5	5.0	4.0	42.0	2.0	3.0
	男児 中学1-3	305	27.2	5.6	51.1	12.8	3.9	2.0	35.4	0.3	2.3
	女児 小学1-2	113	32.7	1.8	54.0	9.7	4.4	1.8	36.3	4.4	5.3
	女児 小学3-4	149	27.5	4.7	53.7	15.4	2.7	1.3	43.0	2.0	2.0
	女児 小学5-6	167	25.1	1.2	50.9	16.8	3.6	1.8	37.7	1.8	3.0
	女児 中学1-3	222	22.1	5.0	49.1	15.3	5.4	5.4	36.9	1.4	1.8

※1位を■、2位を■、3位を■、4位を■で網掛け表示
単位：%

【調査結果.4】

花粉症の症状に対して、正確な対策・対処方法を詳しく知っている親は全体の約2割
受験生の子どもを持つ親は、持たない親よりもアレルギー疾患の仕組みに詳しい傾向あり

花粉症の症状への対策・対処方法の知識を聞く質問では、対策・対処方法を「詳しく知っている」と答えた親は全体の26.9%。それ以外の親は「基本的な対策を知っている程度（66.0%）」、「名前のみ聞いたことがあるがほとんど知らない、もしくは、知っているが自信は無い（6.3%）」、「全く知らない（0.7%）」という結果になりました。大人でも身近な疾患であるが故に、対策・対処方法の基本的な知識は広まりつつあるものの、まだまだ十分とは言えないという現状が明らかになりました。（図4-1）

また、「花粉もアレルギー疾患の原因であること」をきちんと理解している親は全体の28.4%に留まり、「アレルギー疾患になる仕組みやメカニズム」をきちんと理解している親は、全体の15.2%という結果に。ただし、受験生の子どもを持つ親に着目すると、「花粉もアレルギー疾患の原因であること」の理解度は34.9%（受験生の子どもを持たない親の理解度：27.1%）、「アレルギー疾患になる仕組みやメカニズム」の理解度は23.3%（受験生の子どもを持たない親の理解度：13.5%）で、受験生の子どもを持つ親ほどアレルギー疾患の仕組みに詳しく、アレルギーに関する情報に意識的にアンテナを張っていることが推測されました（図4-2）。

図4-1. 「アレルギー症状」に対して、あなたは明確な対策・対処方法をご存知ですか。

	n	詳しく知っている	基本的な対策を知っている程度	名前のみ聞いたことがあるがほとんど知らない、もしくは、知っているが自信は無い	全く知らない	認知計 (%)	
全体	1815	26.9	66.0	6.3	0.7	92.9	
性 × 年齢別	男児 小学1-2	275	29.1	63.3	5.8	1.8	92.4
	男児 小学3-4	320	26.9	68.8	3.1	1.3	95.6
	男児 小学5-6	356	28.4	64.3	6.2	1.1	92.7
	男児 中学1-3	475	24.0	66.9	8.4	0.6	90.9
	女児 小学1-2	227	27.8	66.1	5.7	0.4	93.8
	女児 小学3-4	284	25.7	65.5	7.7	1.1	91.2
	女児 小学5-6	290	27.9	63.8	7.6	0.7	91.7
	女児 中学1-3	415	21.2	71.3	6.5	1.0	92.5

図4-2.花粉もアレルギー疾患の原因の1つであることをご存知ですか。また、アレルギー疾患になるメカニズムをご存知ですか。

	花粉もアレルギー疾患の1つであることをご存知ですか。				アレルギー疾患になる仕組みやメカニズムをご存知ですか。			
	内容や特徴を知っている	ある程度、内容や特徴を知っている	名前をきいたことがある程度	全く知らない	内容や特徴を知っている	ある程度、内容や特徴を知っている	名前をきいたことがある程度	全く知らない
受験生の子どもあり (n=86)	34.9%	48.8	14.0	2.3	23.3%	53.5	18.6	4.7
受験生の子どもなし (n=414)	27.1%	57.5	12.8	2.7	13.5%	57.0	20.8	8.7

単位：%

単位：%

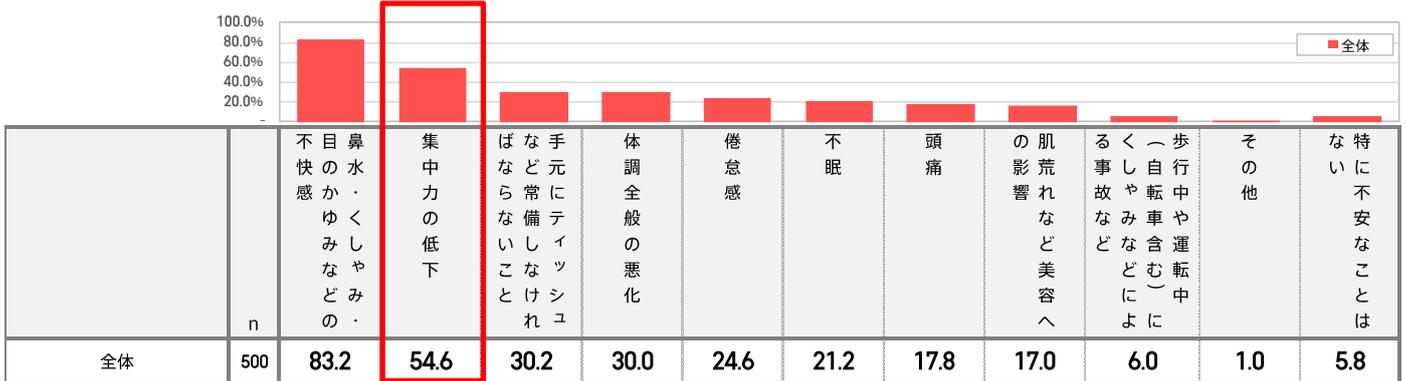
【調査結果.5】

子どものアレルギーの症状で最も不安に思うことは「鼻水・くしゃみ・目のかゆみなどの不快感」次いで「集中力の低下」が第2位に。QOL (=Quality of Life: 生活の質) の低下に不安を感じる親が大多数

「子どもが花粉症などのアレルギーに伴って発生する、不安なことや症状は？」という質問では、「鼻水・くしゃみ・目のかゆみなどの不快感 (83.2%)」がトップの回答に。そして、「体調全般の悪化 (30.0%)」、「倦怠感 (24.6%)」、「不眠 (21.2%)」といった具体的な症状を抑え、「集中力の低下 (54.6%)」がアレルギー症状で不安に思うことの第2位という結果が明らかになりました。

実際の症状自体に不安を感じることはもとより、その症状が引き起こすQOL (=Quality of Life: 生活の質) の低下に不安を感じる親が多数いることが明らかに。そして、受験生の子どもを持つ親に限ると「集中力の低下」を不安視する割合が60.5%と上昇し、アレルギー症状が受験期の子どもの大敵と考える親が大多数いることが推測されます (図5)。

図5.あなたのお子様に、花粉症などのアレルギーにともなって発生する、不安なことや症状を以下の中からお知らせください。(複数回答可能)



単位: %

【調査結果.6】

自分の子どもに「子ども向け花粉対策メガネ」を使用させている親は5人に1人
購入理由は「花粉症発症の予防のため (25.6%)」が最も高く、「親の危機意識の高さ」が伺える結果に一方で、未購入の親は「安全性」や「掛け心地・自然な見た目」を懸念

「花粉対策メガネについて、子ども向けタイプがあることを知っていましたか？」という質問では、全体のうち22.8%の親が「既に持っているし、使用させている」と回答。なお、「花粉対策メガネを購入したきっかけ」としては、「花粉症発症の予防のため (25.6%)」という理由が最も多く、花粉症発症後の対策だけでなく、「予防」という効果を期待する意向も見られました。

次いで「まわりの子が花粉対策として使用しているから (22.4%)」という理由が挙がり、「花粉対策メガネ」が大人だけでなく、子どもの間でも徐々に浸透してきていることが明らかになりました。(図6)

一方で、花粉対策メガネを子どもに使用させていない親にその理由を質問したところ、「普段メガネをかけていないので抵抗がある (29.2%)」、「運動するときに危ないと思う (25.9%)」、「学校でかけると目立つ (24.1%)」といった理由が並びました。

図6.あなたが、お子様に子ども用の「花粉対策メガネ」を購入したきっかけを教えてください。(複数回答可)



単位: %

■両国眼科クリニック・深川和己（ふかがわ・かずみ）先生に聞く「子どものアレルギー疾患と花粉対策」

現代の子どもは、清潔な生活環境で育つため、細菌などに接触する機会が少なく、花粉やハウスダストなどに対してアレルギーを起こしやすい傾向になったとも言われています。「子どもが風邪だと思って病院に行ったら、花粉症だと診断された」といった親御さんの声も多く耳にします。スギ花粉症をはじめとした子どものアレルギー疾患は確実に増加していると言えるでしょう。

また、夜更かしなどによりサーカディアンリズム（体内時計）が乱れると、免疫が弱体化してアレルギー疾患につながるとも言われています。実は、「早寝早起」は立派なアレルギー対策なのです。こうした規則正しい生活に加えて、それぞれのアレルギーに対して適切な対策を実践することが重要です。例えば、花粉に対するアレルギーの予防は、花粉という抗原そのものを回避すること（体内に入れないこと）が重要なので、花粉カットメガネをかけることや、屋内に入る際に衣服について花粉を払うことが効果的です。

まずはご自身のお子様が何のアレルギーに反応するのかを病院で診断し、それぞれのアレルギーに対して適切な対策を実践していきましょう。

【両国眼科クリニック・深川和己（ふかがわ・かずみ）先生】

平成元年慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学病院勤務後、国立霞ヶ浦病院医長就任。国立小児病院小児医療研究センターで眼のアレルギーを研究。平成11年、医療法人社団慶翔会理事長就任。平成16年より慶應義塾大学病院講師（非常勤）。両国眼科クリニック、飯田橋眼科クリニック、新宿眼科クリニック、神田須田町アイクリニック理事長。



小中学生のうちから花粉対策を。「JINS 花粉 CUT」KIDS & JUNIOR



JINS 花粉 CUT JUNIOR
(11~15 歳向け)



JINS 花粉 CUT for KIDS
(6~11 歳向け)

<主な機能>

■ あらゆる学齢に対応したサイズ&デザイン

小学校低学年~中学生まで対応し、お子様の顔の大きさや好みに合わせて最適な1本をお選びいただけます。

■ 花粉カット率最大98%

両国眼科クリニック・深川和己先生監修のもと、独自で実証実験を実施。花粉・PM2.5 カット率ともに最大98%を達成しています。

■ 自然な見た目調節自在

クリアフードを採用することでメガネのような自然な見た目を実現。フレームには軽量素材「TR-90」、鼻パッドとテンプルエンド（つる）には自身で調節可能なラバーを採用しているため、普段メガネをかけ慣れないお子様なども安心してお使いいただけます。

■ 外遊びや運動時でも安全な設計

外で活動的に動き回る使用シーンを考慮し、KIDS モデル、JUNIOR モデルともに着用時の安全性を高めるラバー素材のガードを採用。着脱可能なアタッチメントとして標準装備しました。新発売の JUNIOR モデルでは、成長に合わせ KIDS モデルよりも目立ちにくいクリアカラーを採用。

JINS 花粉 CUT シリーズラインアップ

商品分類	大人用		子ども用	
	SLIM	STANDARD	JUNIOR (11~15 歳向け)	KIDS (6~11 歳向け)
				
モデル数	2 型 8 種	2 型 12 種	1 型 4 種	1 型 4 種
価格	¥5,000 (+税)	¥3,900 (+税) ※2017年1月26日以降は ¥3,000 (+税) で展開	¥3,000 (+税)	¥3,900 (+税) ※2017年1月26日以降は ¥3,000 (+税) で展開
花粉カット率	最大 98%*			
PM2.5 カット率	最大 98%*			
度付きレンズ交換	度なし専用のため度付き不可	+¥2,000 (+税)	+¥2,000 (+税)	+¥2,000 (+税)
くもり止めレンズ	標準搭載	+¥5,000 (+税)	+¥5,000 (+税)	+¥5,000 (+税)
付属品	専用ソフトケース	専用ソフトケース	専用ソフトケース ラバー・ガード	専用ソフトケース ラバー・ガード

レターに関するお問合せ先

JINS PR 事務局<(株)サニーサイドアップ内> 担当 中川・蜂須賀・奥山・清水 (康)
TEL : 03-6894-3200 / FAX : 03-5413-3050 / Mail to : jins@ssu.co.jp